

警 察 本 部

1. 部総括表

部名：警察本部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
10-1	警務部	(198,486)	(194,631)		(3,855)	
		6,723,317	6,515,525	70,743	137,049	
10-2	生活安全部	(40,270)	(39,271)		(999)	
		8,070,902	7,913,698	71,369	85,835	
10-3	刑事部	3,903,326	3,858,501		44,825	
10-4	交通部	(92,322)	(55,150)	(37,169)	(3)	
		5,600,414	5,409,005	114,006	77,403	
10-5	警備部	1,693,640	1,668,407	7,689	17,544	
	部計	(331,078)	(289,052)	(37,169)	(4,857)	
		25,991,599	25,365,136	263,807	362,656	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：警務部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-1-1	新型コロナウイルス感染症に係る手当	8,858	8,782		76	主要施策の成果の概要(10-1-1)に記載
10-1-2	警察活動感染防止対策事業	4,810	4,343		467	主要施策の成果の概要(10-1-2)に記載
10-1-3	警察施設整備事業(坂出警察署整備事業)	(124,651) 587,080	(124,651) 572,793	8,000	6,287	主要施策の成果の概要(10-1-3)に記載
10-1-4	警察施設整備事業(警察施設改修等事業)	(50,835) 62,618	(48,260) 59,979		(2,575) 2,639	主要施策の成果の概要(10-1-4)に記載
10-1-5	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業(犯罪被害者支援事業)	11,151	8,766		2,385	主要施策の成果の概要(10-1-5)に記載
10-1-6	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業(在留外国人等安全・安心推進事業)	217	7		210	主要施策の成果の概要(10-1-6)に記載
10-1-7	公安委員会運営費	6,807	6,733		74	公安委員会の運営に要する経費 公安委員報酬 6,612
10-1-8	給与費	3,899,904	3,862,447		37,457	警務部職員の給与費 給料1,622,616、職員手当等1,649,240、共済費590,591
10-1-9	一般事務費	100,543	76,624		23,919	警察署協議会委員報酬等の警察運営に要する経費
10-1-10	庁舎等管理費	(23,000) 682,578	(21,720) 609,888	59,496	(1,280) 13,194	警察施設の維持及び補修に要する経費
10-1-11	被服調製費	186,042	173,781	1,350	10,911	警察官に支給する制服等に要する経費
10-1-12	福利厚生費	54,317	52,098		2,219	職員の健康診断、疾病予防等に要する経費
10-1-13	情報化の推進	695,805	680,214	1,897	13,694	電子計算機を利用した事務の効率化・能率化に要する経費
10-1-14	行財政改革の推進	7,909	7,825		84	事務事業を見直し、合理化を図る経費
10-1-15	坂出警察署整備(移転等経費)	1,590	1,445		145	坂出警察署の一時移転に伴う事務室移転等に要する経費
10-1-16	警察車両の整備	48,226	46,828		1,398	警察車両の計画的な更新に要する経費
10-1-17	警察車両等維持管理費	181,378	172,201		9,177	警察車両及び警察船の燃料費、修繕費等の維持管理に要する経費
10-1-18	装備品等整備費	7,272	6,528		744	給貸与品及び装備品等の維持管理、整備等に要する経費
10-1-19	恩給及び扶助料	13,066	11,357		1,709	恩給及び遺族扶助に要する経費
10-1-20	一般警察活動費	82,372	80,637		1,735	警察の一般行政の運営及び警察電話の維持等に要する経費

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-1-21	広報活動費	2,108	1,372		736	警察音楽隊等を活用して広報活動の充実を図る経費
10-1-22	警察教養費	15,308	14,775		533	柔剣道等の術科訓練、学校教養や職場教養に要する経費
10-1-23	国際化対策費	5,661	5,458		203	来日外国人犯罪に対処するための外国語研修等に要する経費
10-1-24	人材確保対策費	5,642	5,366		276	優秀な人材の確保を図るために要する経費
10-1-25	留置施設管理費	52,055	45,278		6,777	留置施設の適正な管理及び留置業務に要する経費
	課計	(198,486) 6,723,317	(194,631) 6,515,525	70,743	(3,855) 137,049	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：警務部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備考
警務部	(2) 405	[1] 57	[1] (2) 462	育児休業15名、退職4名
合計	(2) 405	[1] 57	[1] (2) 462	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>警察活動感染防止対策事業</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>感染が拡大する新型コロナウイルス感染症に的確に対応するため、感染リスクの高い作業に係る手当の見直し、装備資機材の整備等を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に係る手当（10-1-1） （8,782千円）</p> <p>新型コロナウイルス感染症から県民の生命等を保護するための作業に従事した職員等に手当を支給した。</p> <p>① 特殊勤務手当（329千円） ② 管理職員特別勤務手当（376千円） ③ 超過勤務手当（8,077千円）</p> <p>(2) 警察活動感染防止対策事業（10-1-2） （4,343千円）</p> <p>① 職員の感染防止対策 職員の感染防止のため、マスク、フェイスシールド、非接触型体温計、アルコール消毒液等の装備資機材を整備した。</p> <p>② 来庁者の感染防止対策 来庁者の感染防止のため、警察施設の入口に非接触型体温検知器やアルコール噴霧器を整備したほか、受付等にウイルスの飛散を防止するためのアクリル透明仕切板を整備した。</p> <p>③ 留置管理業務における感染防止対策 留置施設における感染を防止するため、空気清浄機を整備した。</p> <p>④ 抗原検査による感染防止対策 濃厚接触者となった警察職員を早期に現場復帰させるため、待機期間短縮の確認に係る抗原検査キットを整備した。</p>	<p>感染リスクに加え厳しい勤務環境の中、県民の生命及び財産を保護するため平常時には想定されない作業に従事し、県民の安全・安心を確保することができた。</p> <p>各種感染防止対策により、警察機能を維持し、警察活動が円滑に行われたほか、来庁者の不安感を軽減することができた。</p>
<p>坂出警察署整備事業（10-1-3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>治安情勢に的確に対応し、地域住民の安全・安心を確保するため、老朽化・狭隘化している坂出警察署の整備を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>坂出警察署整備事業（572,793千円）</p> <p>坂出警察署整備のため、新庁舎建築工事（2年目）を実施した。</p>	<p>県民の期待と信頼に応える力強い警察を構築するため、警察活動を支え、地域の拠点となる警察署の整備を推進した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>警察施設改修等事業（10-1-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 警察活動を支える基盤の充実を図るため、老朽化の著しい警察施設の改修等を行った。</p> <p>2. 具体的内容 警察施設改修等事業（59,979千円） 東かがわ警察署庁舎の一部改修工事等を実施した。</p>	<p>県民の期待と信頼に応える力強い警察を構築するため、警察活動を支える警察施設の改修等を推進した。</p>
<p>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 犯罪被害者支援事業（10-1-5）（8,766千円） 医療費等に係る公費負担制度の積極的な運用及び各種キャンペーンでのビラ配布や県下の中学校・高校における「命の大切さを学ぶ教室」の開催(10回)など、県民の理解の増進に資するとともに、犯罪被害者の精神的・経済的被害の軽減及び捜査過程における二次的被害の防止を図った。</p> <p>(2) 在留外国人等安全・安心推進事業（10-1-6） （7千円） 24時間体制の民間の多言語コールセンターを活用し、言葉や制度に不慣れな外国人からの110番通報、相談等に円滑に対応した。 ※多言語コールセンターの利用状況：令和3年度2件（英語1件、ベトナム語1件）</p>	<p>香川県犯罪被害者等支援条例に基づき、被害者が受けた被害の早期回復及び軽減を図るため、関係機関等と協同し、犯罪被害者等の心情を理解した支援活動や社会全体で犯罪被害者等支えるための広報啓発活動等を推進した。</p> <p>日本語を解さない外国人からの110番通報、相談等への迅速かつ的確な対応を行うための環境整備を推進した。</p>

2. 課総括表

課名：生活安全部
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-2-1	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業(安全な地域社会づくり)	32,410	31,082		1,328	主要施策の成果の概要(10-2-1)に記載
10-2-2	警察施設整備事業(交番・駐在所の整備等事業)	(40,270) 132,281	(39,271) 59,912	71,369	(999) 1,000	主要施策の成果の概要(10-2-2)に記載
10-2-3	風俗営業等事務費	6,873	6,578		295	風俗営業や銃砲所持等の許認可等に要する経費
10-2-4	給与費	7,468,240	7,396,722		71,518	生活安全部職員の給与費 給料3,086,976、職員手当等 3,181,312、共済費1,128,434
10-2-5	通信指令システム維持等管理費	347,380	343,640		3,740	110番通報、緊急配備等通信指令業務の運用に要する経費
10-2-6	地域安全活動費	45,734	42,534		3,200	地域活動及び地域警察の運営に要する経費
10-2-7	生活安全活動費	32,669	28,811		3,858	特別法令違反の捜査や検挙等に要する経費
10-2-8	少年非行防止対策費	5,315	4,419		896	少年非行防止活動等に要する経費
	課計	(40,270) 8,070,902	(39,271) 7,913,698	71,369	(999) 85,835	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：生活安全部
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
生活安全部	(1)777	89	(1)866	育児休業11名、休職3名
合計	(1)777	89	(1)866	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																				
<p>犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業 (10-2-1)</p> <p>1. 趣旨・概要 県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 安全な地域社会づくり (31,082 千円) 「香川県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進条例」を基軸として、防犯教室の積極的開催、関係機関・団体等と連携した防犯ボランティア活動の活性化、防犯 CSR 活動の普及促進、防犯カメラの設置促進等により、安全で安心なまちづくりを推進した。</p> <p>① 安全・安心まちづくりを推進する防犯カメラ設置促進事業 (9,272 千円) 安全で安心なまちづくりを推進するため、5市6町19自治会等に対して、防犯カメラの設置に係る初期費用の一部を補助 (69 基) し、地域の防犯環境の整備をするなど、地域の自主的な防犯取組を推進した。</p> <p>② 特殊詐欺撲滅事業 (10,546 千円) 悪質・巧妙化する特殊詐欺を撲滅するため、被害実態を把握して令和4年以降の抑止取組に反映させることを目的に、高齢者を中心にアンケート調査を実施し、被害に遭う要因等を分析・研究した。また、電話着信時に相手方へ警告メッセージが自動で流れる振り込め詐欺撃退装置の体験貸出や業務委託したコールセンターから県民への直接架電による注意喚起等、高齢者を中心とした幅広い層の県民に対して直接働きかける予防活動を展開することにより、効果的な特殊詐欺対策を推進した。</p> <p>③ 地域防犯力強化事業 (2,541 千円) 地域の自主防犯活動を促進し、地域住民と企業や事業者が一体となった自立的・持続可能な防犯活動を実現させるため、業務委託した県防犯協会が企業等を巡回して防犯 CSR 活動に資する各種情報提供を行うなどして同活動への参画等をサポートしたほか、企業価値を高める表彰制度等を活用したことにより、防犯 CSR 活動の普及や防犯ボランティア活動の活性化を促進し、地域全体で取り組む自主防犯力の強化を行った。</p> <p>④ 自主的な地域安全活動の充実等事業 (4,992 千円) 地域の自主防犯活動に対する物品の貸与や学生ボランティア等による活動を支援した。また、県警察本部や各警察署と地域住民が協働し、地域の実情に応じた</p>	<p>3. 指標 刑法犯認知件数 (暦年) (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1417 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,543</td> <td>3,801</td> <td>4,000 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要犯罪検挙率 (暦年) (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 577 1417 716"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>105.1</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>特殊詐欺被害総額 (暦年) (万円)</p> <table border="1" data-bbox="943 840 1417 992"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,321</td> <td>10,043</td> <td>7,000 以下</td> </tr> </tbody> </table>			基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	4,543	3,801	4,000 以下	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	105.1	100.0	100.0	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	8,321	10,043	7,000 以下
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																			
4,543	3,801	4,000 以下																			
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																			
105.1	100.0	100.0																			
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																			
8,321	10,043	7,000 以下																			

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																
<p>各種防犯教室等を頻回に開催することにより、県下一円で県民の防犯意識・知識の向上を各種団体に対して図るなど、犯罪抑止啓発を様々なコミュニティで推進した。</p> <p>⑤ 犯罪に遭いにくいまちづくり事業 (3,428 千円) 子供や女性を犯罪から守るため、防犯機材の維持管理やメール配信システムの運用を積極的に行い、事案を認知した際にはタイムリーな防犯情報を継続的に提供するなど、警察と関係機関が連携した迅速な防犯取組を推進した。</p> <p>⑥ かがわマナーアップリーダーズ活動支援事業 (303 千円) 非行防止キャンペーン等に主体的に取り組む中学生 4,763 人を「かがわマナーアップリーダーズ」に任命し、リーダーズが主体となった非行防止キャンペーンや広報啓発用グッズ作成の各種非行防止啓発活動のほか、環境美化活動等の取組みを支援することで、若者世代はもとより社会全体の規範意識の向上を図った。</p>																	
<p>交番・駐在所の整備等事業 (10-2-2)</p> <p>1. 趣旨・概要 地域の安全・安心の拠点である交番・駐在所について、既に耐用年数が経過し、老朽化、狭隘化が著しい施設を対象として、整備を行った。</p> <p>2. 具体的内容 交番・駐在所の整備等事業 (59,912 千円) 高松南警察署檀紙駐在所及び観音寺警察署大野原駐在所の整備に着手(建築業務等)するとともに、観音寺警察署柞田駐在所の整備を完了した。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="172 1541 890 1836"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>所在地</th> <th>構造</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高松南警察署 檀紙駐在所</td> <td>高松市 檀紙町</td> <td>W 2 F</td> <td>2,189</td> </tr> <tr> <td>観音寺警察署 大野原駐在所</td> <td>観音寺市 大野原町</td> <td>W 2 F</td> <td>18,452</td> </tr> <tr> <td>観音寺警察署 柞田駐在所</td> <td>観音寺市 柞田町</td> <td>W 2 F</td> <td>39,271</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：木造</p>	施設名	所在地	構造	事業費	高松南警察署 檀紙駐在所	高松市 檀紙町	W 2 F	2,189	観音寺警察署 大野原駐在所	観音寺市 大野原町	W 2 F	18,452	観音寺警察署 柞田駐在所	観音寺市 柞田町	W 2 F	39,271	<p>地域における各種警察活動や地域住民・ボランティア等の活動の拠点としての機能を整備することにより、治安基盤の強化が図られた。</p>
施設名	所在地	構造	事業費														
高松南警察署 檀紙駐在所	高松市 檀紙町	W 2 F	2,189														
観音寺警察署 大野原駐在所	観音寺市 大野原町	W 2 F	18,452														
観音寺警察署 柞田駐在所	観音寺市 柞田町	W 2 F	39,271														

2. 課総括表

課名：刑事部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-3-1	給与費	3,698,461	3,663,347		35,114	刑事部職員の給与費 給料1,555,955、職員手当等 1,537,491、共済費569,901
10-3-2	初動捜査体制の 強化	15,225	12,519		2,706	捜査活動を支援する装備資機材の 整備に要する経費
10-3-3	初動捜査活動強 化費	14,671	14,670		1	捜査支援システムを駆使した捜査 指揮の高度化に要する経費
10-3-4	犯罪捜査活動費	57,124	52,297		4,827	刑法犯等の犯罪の捜査や検挙に要 する活動経費
10-3-5	銃器犯罪対策費	1,486	738		748	銃器犯罪の捜査に要する経費
10-3-6	暴力団対策費	7,921	7,077		844	暴力団の取締り等の暴力団対策に 要する経費
10-3-7	鑑識捜査活動費	108,438	107,853		585	犯罪現場等における鑑識活動及び 鑑定業務に要する経費
	課計	3,903,326	3,858,501		44,825	

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：刑事部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
刑事部	393	14	407	育児休業5名
合計	393	14	407	

2. 課総括表

課名：交通部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-4-1	交通死亡事故抑止総合対策事業（体系的な交通安全教育の推進）	82,473	78,025		4,448	主要施策の成果の概要（10-4-1）に記載
10-4-2	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通安全施設の整備）	(92,322) 1,129,539	(55,150) 1,008,986	(37,169) 114,006	(3) 6,547	主要施策の成果の概要（10-4-2）に記載
10-4-3	交通死亡事故抑止総合対策事業（交通指導取締りの強化）	6,507	6,148		359	主要施策の成果の概要（10-4-3）に記載
10-4-4	給与費	3,224,863	3,191,956		32,907	交通部職員の給与費 給料1,352,416、職員手当等 1,367,294、共済費472,246
10-4-5	交通安全施設等維持費	327,970	320,592		7,378	信号機等交通安全施設の維持管理に要する経費
10-4-6	反則金徴収事務費	7,308	5,666		1,642	交通違反に係る反則金の徴収事務に要する経費
10-4-7	車庫証明事務費	124,496	115,847		8,649	自動車保管場所証明事務に要する経費
10-4-8	運転免許費	598,316	585,165		13,151	運転免許試験や免許証の更新事務等運転免許行政に要する経費
10-4-9	放置駐車違反對策費	41,327	40,533		794	違法駐車対策に要する経費
10-4-10	交通指導取締費	39,375	37,992		1,383	交通指導取締りに必要な活動費及び取締り機材の維持管理に要する経費
10-4-11	交通対策費	18,240	18,095		145	交通環境の整備、交通安全活動の推進等に要する経費
	課計	(92,322) 5,600,414	(55,150) 5,409,005	(37,169) 114,006	(3) 77,403	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：交通部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
交通部	324	74	398	育児休業5名
合計	324	74	398	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>交通死亡事故抑止総合対策事業</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>前年に死者数が大幅に増加した交通死亡事故の減少及び交通ルールの遵守と交通マナーの向上を目指すため、緻密な交通事故分析に基づき、県民一人一人に届く交通安全教育の推進、関係機関・団体等と連携した交通事故の起きにくい道路交通環境の整備、交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化等、県民と一体となった総合的な交通安全対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 体系的な交通安全教育の推進（10-4-1） (78,025千円)</p> <p>高齢者の被害が交通事故死者数の7割以上を占めている実態を踏まえ、高齢者をはじめ各年齢層のほか、歩行者、自転車利用者、自動車運転者等、それぞれの立場や交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育や啓発活動を推進し、規範意識の向上を図った。</p> <p>① 交通安全教育推進体制の充実等事業（4,768千円）</p> <p>(i) 自転車利用者の交通安全意識を高めるため、自転車の安全利用に関する交通安全教育や、自転車ヘルメットの着用促進などの広報啓発活動を実施した。</p> <p>(ii) 飲酒運転根絶のため、関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進に加え、「飲酒運転根絶BOX」に関する広報啓発等の周知活動を実施した。</p> <p>(iii) 各種交通安全ボランティア活動を支援するため、公安委員会が委嘱する地域交通安全活動推進委員に対する研修の実施や活動に必要な資機材の整備等を実施した。</p> <p>② 交通安全教育推進隊事業（27,015千円）</p> <p>各年齢層に対する交通安全教育の充実のため、交通安全教育推進隊による各種シミュレーター搭載の交通安全教育車「まなぶちゃん」を活用した出前型、参加・体験型の交通安全教育を実施した。</p> <p>③ 高齢者安全安心事業（33,998千円）</p> <p>セーフティアドバイザーが高齢者世帯を個別訪問して、高齢者やその家族に対する交通事故防止に関する指導・啓発を実施した。</p> <p>④ シートベルト着用促進事業（4,362千円）</p> <p>シートベルト着用意識の低い運転者や、運転頻度の高い事業所等に対し、シートベルト装着時の圧迫感を緩和する「シートベルトカバー」を配布するとともに、その有効性を訴えることでシートベルト着用促進を図った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>交通事故死者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 315 1426 472"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>37</td> <td>39以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通事故重傷者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 595 1426 752"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>269</td> <td>244</td> <td>200以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者人口10万人当たりの交通事故による高齢者死者数（暦年）（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="970 954 1426 1111"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.4</td> <td>7.4</td> <td>7.4以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	59	37	39以下	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	269	244	200以下	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	14.4	7.4	7.4以下
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																	
59	37	39以下																	
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																	
269	244	200以下																	
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																	
14.4	7.4	7.4以下																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>⑤ 交通事故を起こさせないための運転者教育事業 (948 千円)</p> <p>運転免許を取得してから高齢者講習を受けるまでの間、実車講習を受ける機会の少ない運転者層を中心とした運転者の交通安全意識の向上を目的として、指定自動車教習所で行う実車講習の受講料の一部を補助し、運転免許取得後の安全教育の充実を図った。</p> <p>⑥ 香川の特性を生かした交通安全教育用映像教材の制作事業 (6,934 千円)</p> <p>交通死亡事故遺族でもあるタレント・俳優の「風見しんご」氏をナビゲーターに起用し、ドラマ仕立てで分かりやすく香川県内の交通事故の特徴や交通事故防止のポイントを解説した交通安全教育用映像教材を制作し、運転免許更新時講習のほか、幅広い年齢層に対する交通安全教育に活用することで、県民の交通安全意識の向上を図った。</p> <p>(2) 交通安全施設の整備 (10-4-2) (1,008,986 千円)</p> <p>交通事故が多発する交差点や夜間の事故を防止するため、道路標識・標示の高輝度・カラー化、信号機の高度化・LED化等を進めるほか、道路交通のIT化による信号制御の最適化及び適切な交通情報の提供、歩行者等の通行環境の整備、道路標識・標示の新設・更新等、道路管理者等と連携した交通安全施設の重点的かつ効果的な整備を図った。</p> <p>① 補助事業 (501,973 千円)</p> <p>(i) 信号機の高度化、老朽化に伴う更新改良等 (392,679 千円)</p> <p>(ii) 交通情報板、信号機電源付加装置等の整備 (45,913 千円)</p> <p>(iii) 交通管制センターの高度化更新等 (63,381 千円)</p> <p>② 県単事業 (498,346 千円)</p> <p>(i) 交差点事故を抑止するための道路標識・標示の高輝度・カラー化整備 (83,437 千円)</p> <p>(ii) 現地診断箇所における施設整備 (11,374 千円)</p> <p>(iii) 道路標識・標示の更新等 (264,886 千円)</p> <p>(iv) 道路の新設改良に伴う交通安全施設等の整備 (136,479 千円)</p> <p>(v) 自転車の通行環境整備 (2,170 千円)</p> <p>③ 横断歩道安全利用促進事業 (8,667 千円)</p> <p>(i) 歩行者の乱横断を防止するための路面シート「わたるなシート」等の整備 (4,167 千円)</p> <p>(ii) 押ボタン式信号機の利用を促すための路面シート「おもてなシート」の整備 (4,500 千円)</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(3) 交通指導取締りの強化（10-4-3）(6,148千円)</p> <p>交通事故の発生状況や県民からの要望を踏まえ、生活道路等における速度取締りを強化することにより、運転者に安全運転を促すとともに実勢速度の低下を図り交通死亡事故の抑止を図った。</p> <p>また、重大事故に直結する幹線道路等における著しい速度超過違反や交差点関連違反、飲酒運転の取締りを強化したほか、暴走族等の取締りを徹底するなど、悪質・危険、迷惑性の高い交通違反に重点を置いた取締りを推進した。</p> <p>① 交通指導取締り資機材の整備（3,982千円） 車両速度測定装置 1台</p> <p>② 飲酒運転根絶事業（2,166千円） 県警察のホームページに飲酒運転に関する通報を受け付ける「飲酒運転根絶BOX」を開設し、効果的な広報啓発のため、チラシ、ポスターを配布し、飲酒運転の抑止を図るとともに、取締り強化のため、暗視スコープ等の資機材を整備した。</p>	

2. 課総括表

課名：警備部

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
10-5-1	給与費	1,589,593	1,574,532		15,061	警備部職員の給与費 給料673,060、職員手当等 654,950、共済費246,522
10-5-2	航空隊運営管理費	101,071	91,654	7,689	1,728	警察ヘリコプターの運用等に要する経費
10-5-3	一般警察活動費	2,976	2,221		755	警備部の一般事務に要する経費
	課計	1,693,640	1,668,407	7,689	17,544	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：警備部

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
警備部	170	2	172	育児休業2名
合計	170	2	172	